

取扱説明書



オールテレーンクレーン

型式 **AR-1200M-1**

適用号機 GC5001 ~

▲ 注意 : この取扱説明書を読んでから操作してください。
この取扱説明書はいつでも読めるよう、所定の
位置に保管してください。

株式会社 タダノ

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

▲ 周囲の安全を確認してから操作する

機械の近くに人がいると、機械の間やカウンタウエイトと障害物の間に人が挟まれる危険性があります。特に旋回操作を始める前には、機械の近くに人がいないことを確認してください。機械を動かす前にホーンを鳴らして警告してください。作業時は、機械の周りにロープを張るなど、機械の近くに人が立ち入らない措置を講じてください。

▲ 地切り操作は確実に

荷をつり上げるときは、地切り操作を確実に行ってください。

地切りの際は玉掛けロープが張った時点でいったん停止し、荷の重心をつっているか、荷が地面に固着していないか、周囲の荷や構造物などと干渉していないか確認してください。

荷は垂直につり上げ、荷が地面から数 離れたところで再度停止して荷の振れを止め、玉掛け状態や、荷がその位置で確実に保持されているか、過負荷になっていないか等を確認した後、再度つり上げてください。

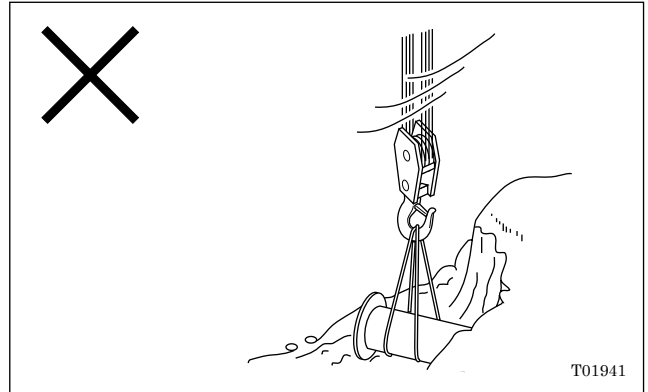
▲ ブームの上げ・伸長操作による地切りの禁止

地切り操作は、必ずウインチ操作で行ってください。ブームの上げ・伸長操作による地切りは、荷振れを起こして危険です。特にブーム上げ操作による地切りは、過負荷であっても自動停止しないため、機械の損傷や転倒事故の原因になります。

▲ 無理なつり上げは行わない

埋設物や植え木、地面に打ち込まれた物を抜こうとすると、機械の各部に思わぬ荷重が加わり、機械の損傷や転倒事故を起こします。

柱や杭のように地面に打ち込まれた物や、植え木や泥や砂に埋まっている物をつり上げないでください。どこからも力を受けていない状態にある物だけを、つり上げてください。



▲ つり荷の移動は慎重に

定格性能に近づくと、AMLが断続の警報音で知らせます。クレーン操作は慎重にし、速度を落としてください。特に作業半径が広がるブーム下げ操作は、過負荷にならないよう注意してください。

▲ 過負荷（性能オーバー）に注意

定格総荷重に近い荷をつっているときは、荷が振れると過負荷になることがあります。十分注意して操作してください。

また、作業半径が広がるブーム伸長操作・ブーム下げ操作を行うときも、過負荷にならないよう注意してください。

▲ 過負荷になったときは

過負荷になったとき、急にブームを上げたり下げたりするのは、機械が転倒しやすくなり危険です。すみやかにウインチ巻下げ操作をして、つり荷を地面に降ろしてください。

▲ クレーン操作はていねいに

急激な操作や乱暴な操作は、荷振れによる衝突事故や、機械が損傷する原因になります。レバーやペダル類は、ゆっくりと確実に、ていねいに操作してください。

▲ リフティングマグネット使用時の注意

リフティングマグネット使用時に万一電源が切れた場合は、つり荷が落下します。リフティングマグネット使用時は、下記の事項に注意して作業してください。

- 発電機の起動・停止の手順は正しく行ってください。
- 作業前に周囲に人がいないことを確認してください。つり荷の下に人が立ち入ったり、人の頭上につり荷を通過させたりしないでください。
- 吸着、解放レバーの操作は的確に行い、所定の場所に正しくつり荷を降ろしてください。
- 運転席を離れるときは、マグネットを格納位置に降ろして電源を切ってください。
- 雨の日などに感電しないよう、電気系統の保守点検は正しく行ってください。

詳しくは製造メーカーの取扱説明書に従ってください。

▲ アウトリガ不使用方法は慎重に

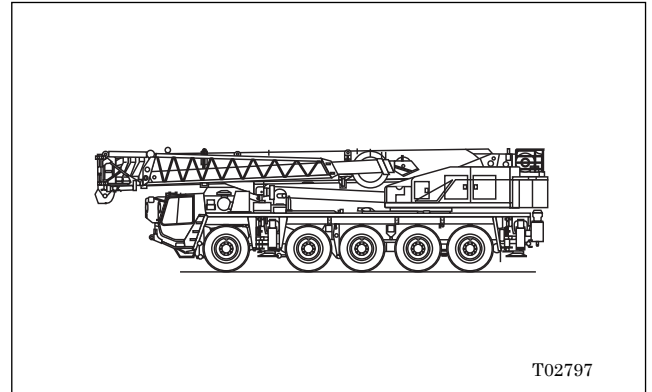
アウトリガ不使用方法の性能があるクレーンがありますが、アウトリガを設置していないため、操作を誤ると転倒する危険性があります。

やむを得ずアウトリガ不使用方法を行う場合は、取扱説明書の注意事項を厳守し、細心の注意を払って作業してください。

作業後の注意

▲ 作業終了後は機械を格納する

作業姿勢のまま機械を放置しておくのは危険です。作業終了後は必ず機械を格納してください。



T02797

▲ PTOを「OFF」にする

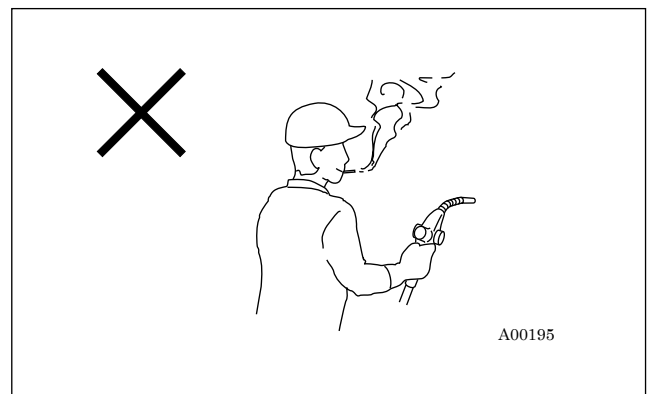
PTOが「ON」のままになっていると、レバーを動かされた場合に機械が動いて危険です。機械を格納した後は、PTOを「OFF」にしてください。

▲ 燃料補給時の注意

燃料は非常に燃えやすく危険です。他の油脂類も燃えやすく危険です。取扱いには十分注意してください。

燃料補給時は下記の事項に注意してください。

- エンジンを止めてください。
- 換気の良い屋外で給油してください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。



A00195

ラベル位置と警告内容

⑨

運転室下部リレー-Assy内部

B

C

③

Cから見る

A

⑩

オイルタンク上面

⑬ ⑥

①

④

⑤

運転室内

A部詳細

②

AR-1200M

Bから見る

⑪

ロータリジョイント上面

T20812J

1		危険	ブーム挟まれ注意
2		警告	配管分解注意
3		警告	ジブ連絡ピンロック操作注意 (2カ所)
4		警告	ジブ取扱い注意
5		警告	ジブ連絡ピン, 格納ピン取扱い注意
6		警告	一般取扱い
9		注意	DC-DCコンバータ注意
10		注意	油圧ポンプエア抜き注意
11		注意	洗浄禁止
18		注意	ジブ張出・格納注意

はじめに

この取扱説明書は、下表に示したスペック番号のクレーンについて安全で正しい取扱いと点検・整備をしていたために編集したものです。

適用スペック番号 (クレーン運転室前面にある下図の銘板で確認してください。)	1. AR-1200M-1-90101
-------------------------------------------	---------------------



T200169

クレーンキャリアおよびクレーン用エンジンの取扱いと点検・整備については、別冊の取扱説明書をご使用ください。

操作編では基本的な操作方法を述べています。操作編をよく読み、正しい運転方法を身につけてください。

点検・整備編ではクレーンの点検・整備について述べています。クレーンの故障を最小限にし、性能を十分に発揮させるためには、適切な点検・整備を行うことが必要です。点検・整備編に従って適切な点検・整備を行ってください。

本書中のイラストは、細かい点で実際と異なっている場合があります。また、説明のためにカバーやガードを取り除いて描いている場合がありますので、ご注意ください。

製品改良のため、取扱説明書の内容にない変更が行われている場合がありますので、ご注意ください。

お届けしたクレーンや本書に関して疑問な点やご質問がありましたら、最寄りの当社支店または営業所にお問い合わせください。

MEMO

AMLシステムの構成と機能

AMLシステムは、過負荷によるクレーンの転倒および破損事故を防止するAML（過負荷防止装置）機能をはじめ、数々の機能が搭載されています。

これらの機能はマルチディスプレイ画面に登録された作業状態に対して、各検出器からの入力信号を基にクレーンの作動を制御します。また、その制御内容をマルチディスプレイ画面に表示します。

過負荷時の自動停止機能

- ・作業モーメントと定格モーメントを比較演算して割合として表示します。また、作業モーメントが定格モーメント以上（100%以上）になるとクレーンの危険側の作動を停止します。
- ・後方の安定度が低下した時は危険側の作動を停止します。

作業範囲制限機能

任意のクレーン作業範囲をマルチディスプレイに登録すると、クレーンの作業姿勢がこの作業範囲を超えないようにクレーンの作動を停止します。

緩停止機能

ブームの起伏、旋回操作の停止時に作動速度が落ちてゆっくりと停止します。急激なクレーンの停止を防止します。

旋回自動停止機能

アウトリガの張出し状態によってクレーン作業の性能領域が異なるため、旋回操作中に過荷重になると性能領域の境界部で作動が停止します。

作業前点検

警告

⚠ AMLシステムが正常に作動していない状態で作業を行うと、クレーンの転倒および損傷の原因になります。AMLシステムが正常に作動していることを確認してから作業を行ってください。

作業開始前に、AMLシステムが正常に作動していることを下記の要領に従って確認してください。

点検前のクレーン状態

- (1) ジブ、シングルトップ格納状態
- (2) 補巻きフック格納状態
- (3) ブーム全縮状態（50トンフック取付け）
- (4) アウトリガ格納状態
- (5) ブーム前方位置（標準画面に「前後」文字が表示されます。）
- (6) ブーム角度約0°

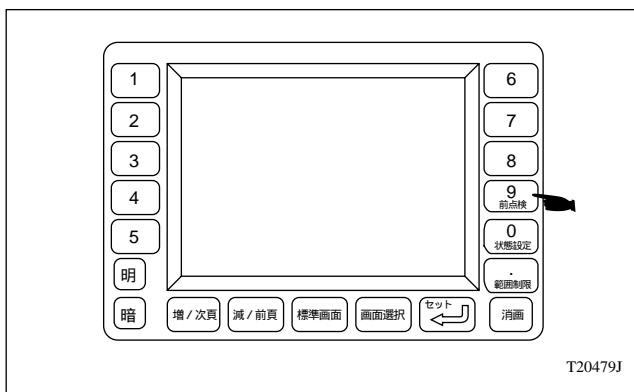
点検途中、メッセージ「この状態の性能がありません（10）」が表示されますが、作業前点検には支障ありません。そのまま点検を続けてください。

メッセージ「・・・の異常を発見・・・」が表示されたときは、最寄りの当社サービスまたは指定サービス工場にて点検修理を受けてください。

点検に際しては、50トンフックを取付けてください。

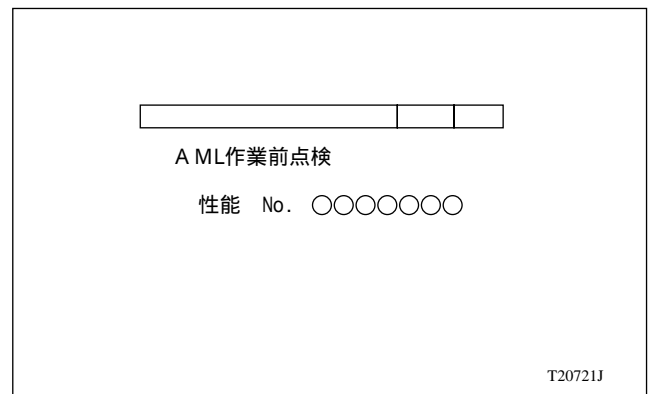
ジブをクレーンから取り外している場合には、ジブ着脱状態選択スイッチを押し、スイッチ内蔵ランプとジブなし表示ランプが点灯していることを確認してください。

1. 「9 / 前点検」キーを押すか、メニュー画面の作業前点検の「1」キーを押して「AML作業前点検」画面に移ってください。

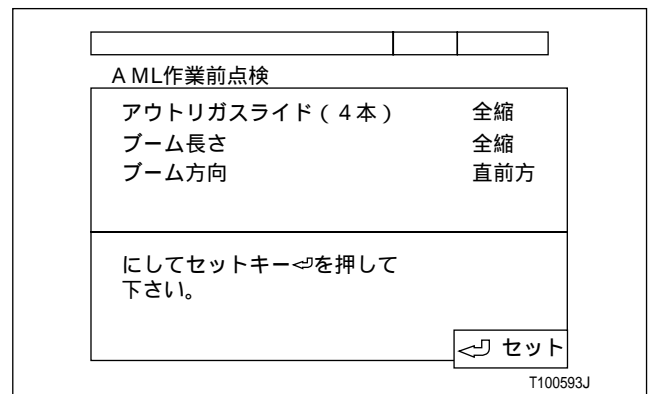


T20479J

2. 「AML作業前点検」画面に移ると最初の約5秒間このクレーンの性能が表示されます。



3. クレーン状態がAML作業前点検の姿勢になっていることを確認し、「セット」キーを押してください。



上記項目が正常であれば正常のメッセージが表示されます。

上記項目に異常があればエラーメッセージ（赤色）が表示されます。再度クレーン状態を確認し、手順1.、2.を繰り返してください。

4. アウトリガ操作をしてクレーンを水平に設置してください。

メッセージ「この状態の性能がありません（10）または（11）」が表示される時も支障はありませんのでそのまま点検を続けてください。

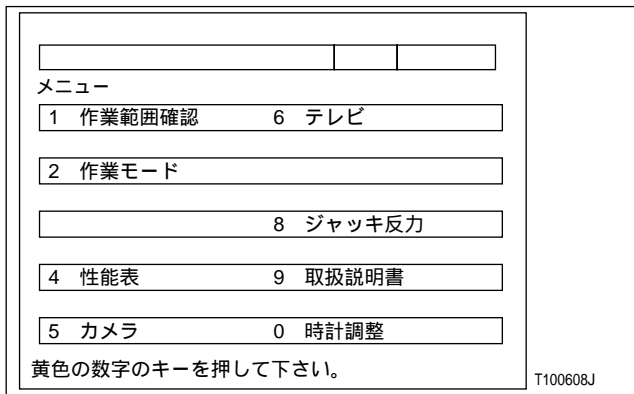
定格総荷重表の表示

クレーンの性能（定格総荷重表）が画面で確認できます。

性能表示は現状態と任意設定状態の2通りの性能が表示できます。（単位：トン）

性能表示画面の選択

- 「画面選択」キーを押して、メニュー画面へ移ってください。
- 「5」キーを押して、メニュー画面へ移ってください。
- 「4」キーを押して、「性能表」画面へ移ってください。



最初に表示された性能表は現状態のものであります。

この画面を終える場合は、「標準画面」または「画面選択」キーを押してください。

現状態の性能表示

性能表示は、クレーン状態の変化に追従して変わるものではありません。確認のたびに、「0」キーを押してください。

1. 「9」キーを押した後、「セット」キーを押して現状態を登録してください。

ブームやアウトリガの使用状態が既に現状態に入力されている場合は、不要です。

2. 「0」キーを押すと自動的に計算されます。

性能表示が数頁にまたがる場合は「増/次頁」、「減/前頁」キーで頁を送ってください。

性能表示値は堅土上にクレーンを水平に設置したときのものです。

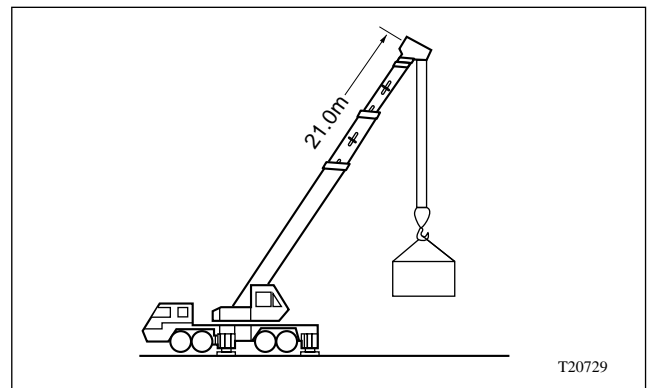
以上で現状態の定格総荷重表が表示されます。

任意設定状態の性能表示

任意設定のクレーン状態における性能表示は以下の要領で行ってください。

例えば、下記の設定条件の場合

- ブームの長さ 21.0m
- ブーム使用状態 ブーム作業
- アウトリガ使用状態 前後左右最大張出
- カウンタウエイト 22t
- ブーム旋回位置 右側方



- ブームの長さの入力 21.0m

1. 「1」キーを押して、画面表示を見ながら、「2」「1」「0」キーを順に押してください。

キーを押し間違ったときは、〔増/次頁〕キーを押してクリアしてください。

2. 「セット」キーを押してください。

ブーム伸縮方式は現在のクレーンの伸縮方式で登録されています。伸縮方式の任意設定はできません。

アキュムレータ減圧警報装置

警告

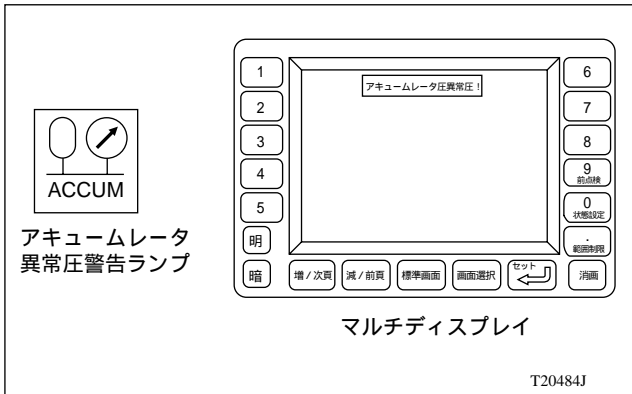
▲ アキュムレータ内の圧力が低下すると、ウインチブレーキの解放能力が低下し、ウインチブレーキディスクの早期摩耗につながります。作業中にこの警報が出たときは直ちに作業を中止して、警報が消える（アキュムレータ内の蓄圧が正常に戻る）まで待ってください。

作業中にたびたび警報が出る場合は最寄りの当社指定サービス工場に連絡してください。

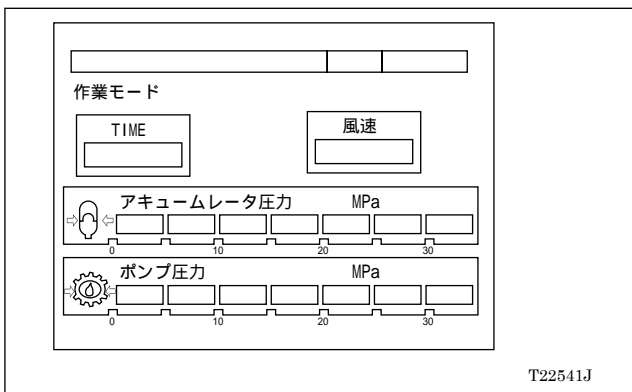
本装置は、アキュムレータ内の圧力が正常圧力範囲外になると、チャイムが鳴り、マルチディスプレイの画面に「アキュムレータ圧が異常！」のメッセージが出るとともに、アキュムレータ異常圧警告ランプが点灯します。

エンジン始動後、右側のレバースタンドを作業位置にしていなくてもこの警報が出ます。速やかにレバースタンドを作業位置にしてください。

正常圧力範囲	2.2 ~ 6.9MPa { 22 ~ 60kg/cm ² }
--------	--------------------------------------------



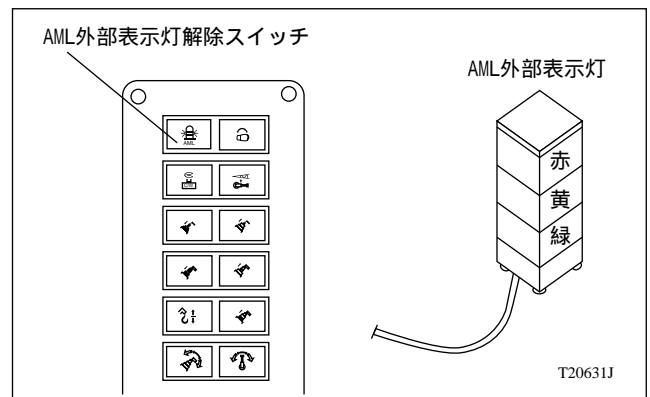
アキュムレータの実際の圧力を見るときはマルチディスプレイの画面を作業モード表示にしてください。



AML外部表示灯

警告

▲ クレーン作業中にAML外部表示灯が赤色表示をした場合には、危険側への操作は自動停止します。この状態からAMLの自動停止機能を解除しての作業は止めてください。一旦、安全側への操作を行って赤色表示から黄色または緑色に切り換えてから作業を再開してください。



AML外部表示灯はクレーン作業中のクレーン（AML）の状態を作業関係者に知らせるものです。

AML外部表示灯解除スイッチを押すと、AML外部表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと、表示灯は消灯します。

表示の色	クレーン（AML）の状態
緑色	安全な状態 ・モーメント表示 90%未満
黄色	危険ではないが注意を必要とする状態 ・モーメント表示 90%以上100%未満
赤色	危険な状態（危険側操作が自動停止） ・モーメント表示 100%以上 また、AMLの自動停止機能を解除したときにも点灯します。 ・AML非常スイッチ：（ON） ・巻過停止解除スイッチ：（ON）

T102019J

窓の開閉

【留意事項】

窓を閉め忘れると、雨天時に雨水が運転室内に入ります。操作装置を濡らすと故障の原因になります。運転室から離れるときは窓を閉めてください。

窓の開閉はガラスのスライド方向にスライドさせて開閉してください。

シートの調整

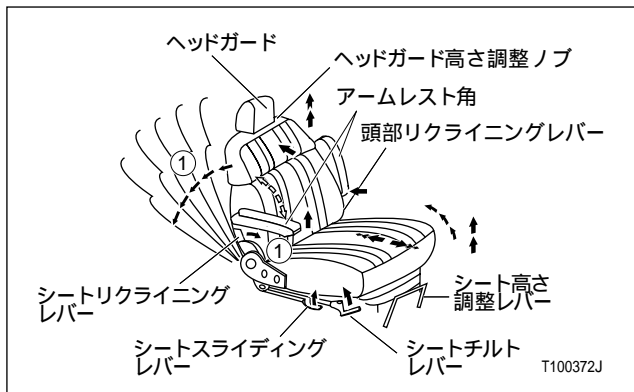


警告

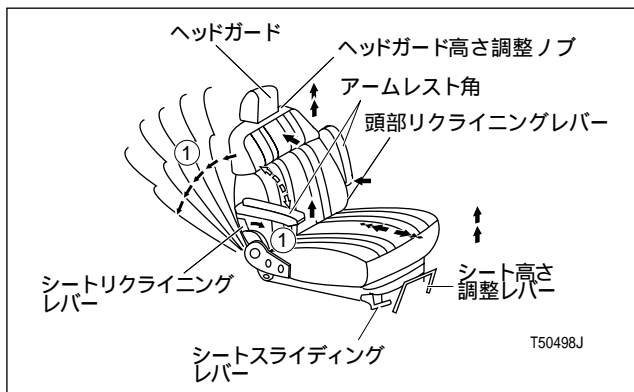
▲ 作業中の調整は危険です。必ず、作業前に調整してください

シートは上下・前後の調整と、リクライニングの調整ができます。シートに座ったとき、操作レバーおよびペダルが無理なく操作できる位置に調整してください。

(適用号機：製造番号GC5046号機まで適用)



(適用号機：製造番号GC5047号機以降適用)



高さ調整

シート高さ調節レバーを引いて、座席全体を上下に動かしてください。任意の高さに調整してください。

スライド調整

シートスライディングレバーを引いて、座席全体を前後に動かしてください。任意の位置に調整してください。

リクライニング調整

シートリクライニングレバーを前方に倒すと背もたれがリクライニングします。任意の位置に調整してください。頭部リクライニングレバーを後方に倒すと頭部がリクライニングします。任意の位置に調整してください。

アームレスト角度調整

アームレスト角度調整レバーを引くとアームレストが傾斜します。任意の位置に調整してください。

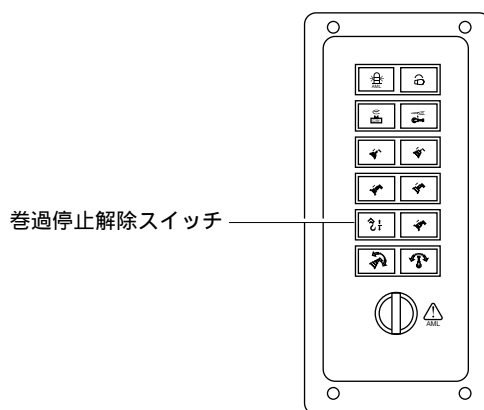
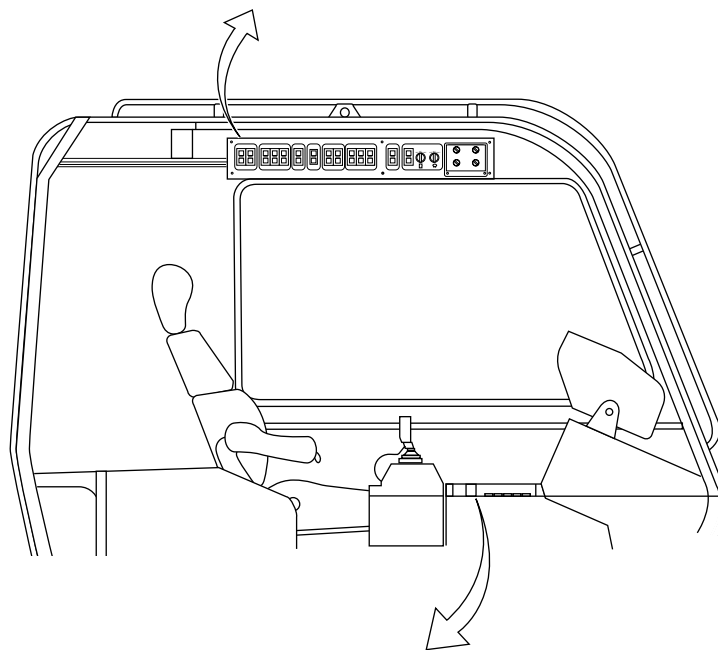
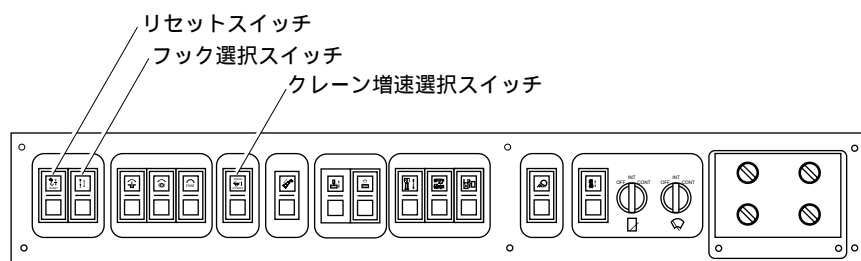
ヘッドガード高さ調整

ヘッドガード高さ調整ノブを押し込むと、ヘッドガードの高さが調整できます。任意の位置に調整してください。

シートチルト調整

(適用号機：製造番号GC5046号機まで適用)

シートチルトレバーを引くと座席のみが上下に傾斜します。任意の位置に調整してください。



T20648J

3. 4段・トップブーム伸長スイッチを押しながら伸縮レバーを前方に倒してください。4段目ブームとトップブームが同時に伸長します。

スイッチは4段目ブームが伸び始めるまで押しててください。4段目ブームが約30cm伸びれば、スイッチから手を離してください。

4. 必要な長さまでブームが伸長したら、伸縮レバーを中立位置に戻してください。

「ブーム伸縮方式」の場合

1. 伸縮レバーを前方に倒してください。2段目・3段目・4段目・トップブームが同時に伸長します。

伸縮ペダルは、伸縮レバーをしばらく操作状態に保持しておくときに、補助的に使用してください。

4段目・トップブーム伸長スイッチを押す必要はありません。

2. 必要な長さまでブームが縮小したら、伸縮レバーを中立位置に戻してください。

ブーム縮小操作

「ブーム伸縮方式」の場合

1. 伸縮レバーを後方に倒してください。ブームが縮小します。ブーム全伸状態から縮小操作を行うと、まず4段目ブームとトップブームが同時に縮小します。4段目ブームとトップブームが全縮小すると、続いて2段目ブームと3段目ブームが同時に縮小します。

2段目ブーム・3段目ブームを全縮小するとき、いずれかのブームが縮みきっていない場合がありますが、全縮小させる場合にはそのままブーム縮小操作をしてください。最終的に全縮小します。そのときにシューという音がしますが、異常ではありません。

伸縮ペダルは、伸縮レバーをしばらく操作状態に保持しておくときに、補助的に使用してください。

2. 必要な長さまでブームが縮小したら、伸縮レバーを中立位置に戻してください。

「ブーム伸縮方式」の場合

1. 伸縮レバーを後方に倒してください。2段目・3段目・4段目・トップブームが同時に縮小します。

伸縮ペダルは、伸縮レバーをしばらく操作状態に保持しておくときに、補助的に使用してください。

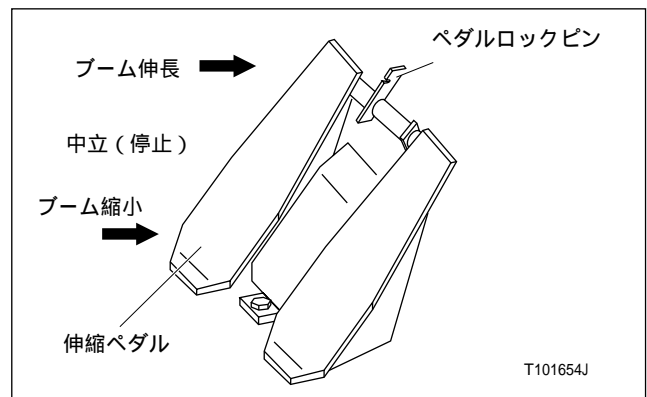
2. 必要な長さまでブームが縮小したら、伸縮レバーを中立位置に戻してください。

伸縮ペダル

ブームの伸長、縮小操作を行うペダルです。

伸縮レバーの補助的に使用してください。

操作終了後は誤操作防止のためペダルロックピンでペダルを固定してください。



CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

1. 旋回ロック警告ランプが消灯していることを確認してください。点灯しているときは旋回ロックスイッチの下側を押し、ランプを消灯させてください。
2. 旋回ブレーキスイッチの下側を押し、旋回ブレーキ警告ランプの消灯を確認してください。
3. 旋回レバー操作前に、ホーンスイッチを押してホーンを鳴らし、周囲の人に注意を促してください。
4. 旋回レバーを操作して旋回してください。
 右旋回：レバーを後方に倒す
 左旋回：レバーを前方に倒す
 停止：レバーを中立位置に戻す
 旋回操作終了後は、旋回ブレーキスイッチの上側を押し、旋回ブレーキをかけておいてください。

その他操作装置の使い方

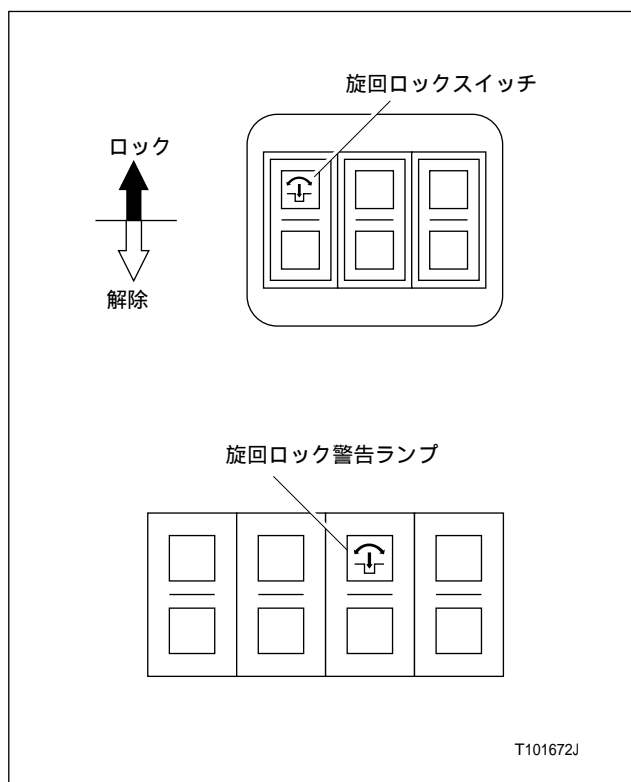
旋回ロックスイッチ

旋回ロックはロックピンで上部旋回体とキャリアフレームを固定することです。旋回ロックは次の作業時には必ず使用してください。

- (1) 構内走行時（クレーン装着状態）
- (2) クレーンの脱着作業時

旋回ロックはブームが直前方または直後方に向いている時のみ可能です。

1. ブームを直前方または直後方に旋回してください。
2. 旋回ロックスイッチの上側を押し、旋回ロック警告ランプが点灯することを確認してください。
 スイッチを押しても警告ランプが点灯していない場合は、旋回ロックピンとピン穴が合っていない場合があります。再度旋回操作で位置を合わせてください。



3. 旋回ロックスイッチの下側を押し、ピンを抜いてください。警告ランプが消えます。

8. トップブームとシングルトップのシーブに補巻きワイヤーロープを通してください。シーブにはワイヤ外れ止めピンを入れてください。

▲ 注意

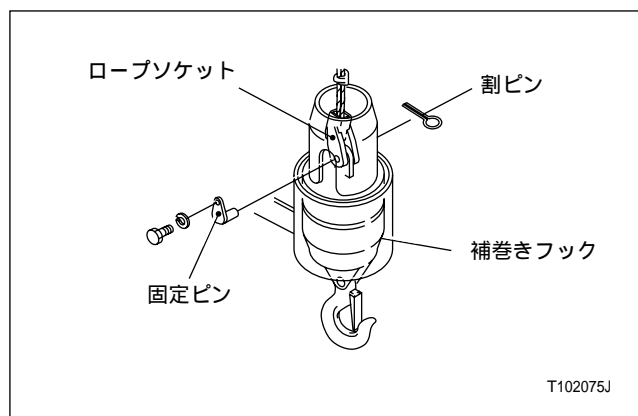
▲ ブーム上面での作業となる場合は慎重に行ってください。

9. ロープソケットを補巻きフックに取り付け、補巻きフックを格納場所から取り出してください。

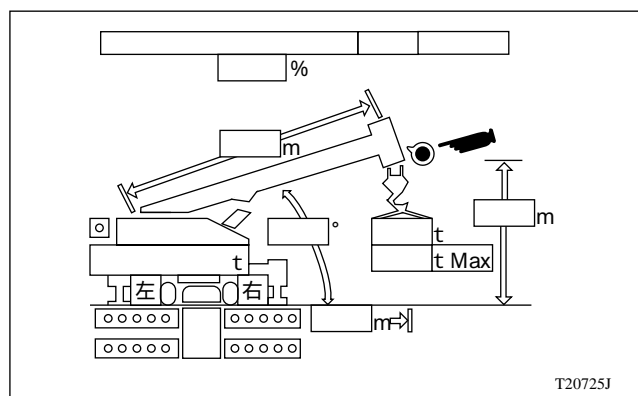
▲ 注意

▲ ロープソケットの固定ピン取付ボルトはスパナを使用して確実に締め付けてください。

締付トルク : 69 ~ 82 N・m { 7.0 ~ 8.4 kgf・m }



10. マルチディスプレイにシングルトップ作業状態を登録してください。



11. 巻過防止装置が正常に働くことを確認してください。

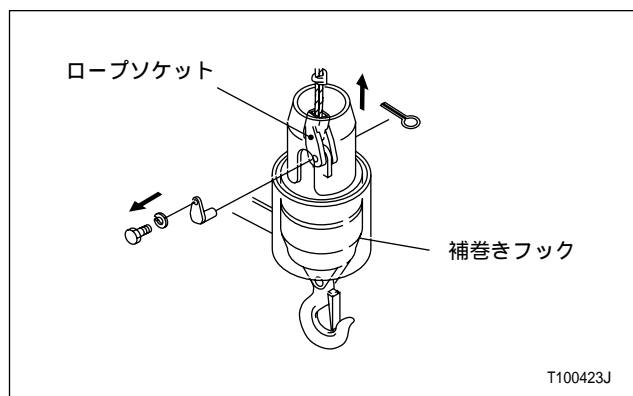
シングルトップの格納

▲ 警告

▲ 高所で作業を行うときは、転落防止のため、作業台を使用して安全に作業を行ってください。

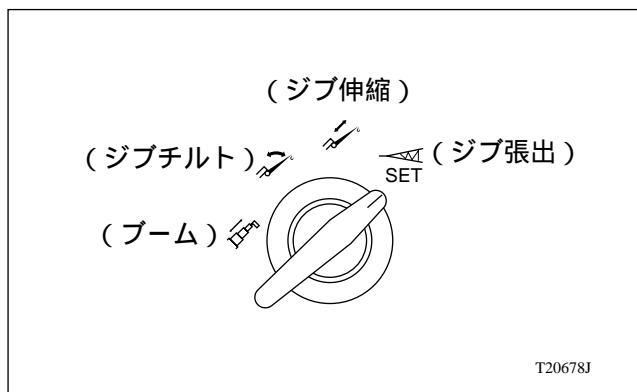
▲ シングルトップは確実に格納してください。格納ピン・連結ピン・ワイヤ外れ止めピン・フック取付けピンは、付属のボルト・スナップピンを使用して確実に抜け止め処理をしてください。

1. 補巻きフックを格納位置に納めてください。
2. 補巻きフックからロープソケットを取り外してください。

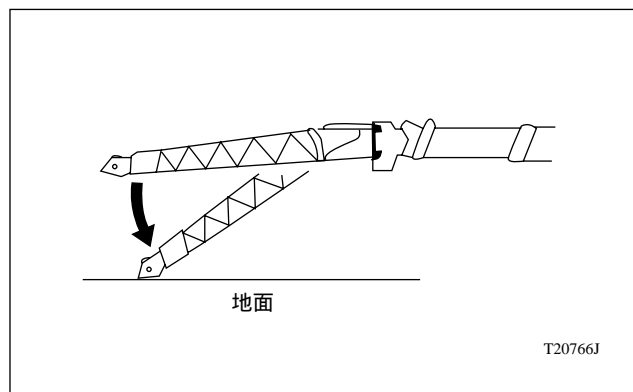


3. ブームをいっぱいまで下げてください。
4. 巻過防止用のウエイトおよびブーム・シングルトップのシーブから補巻きワイヤーロープを外してください。
5. 補巻きワイヤーロープを巻き込みロープソケットを格納位置に戻してください。
6. 旋回台のブラケットにロープソケットを取り付けた後、補巻きワイヤーロープを張り過ぎないように巻き込んでください。

16.伸縮レバー選択スイッチを（ジブ張出）側に切り換えてください。

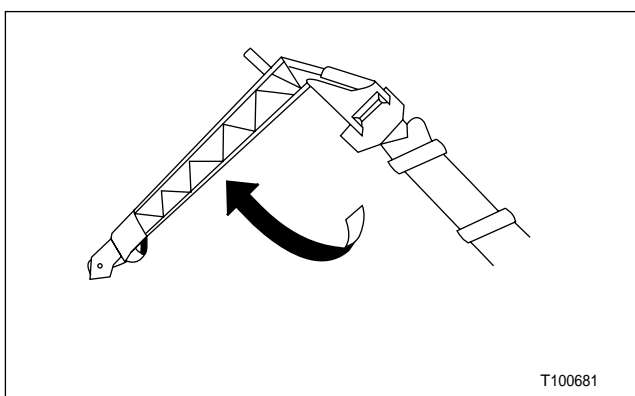


20.伸縮レバーを前方に押し、ジブ先端を地面に軽く押し付けてください。



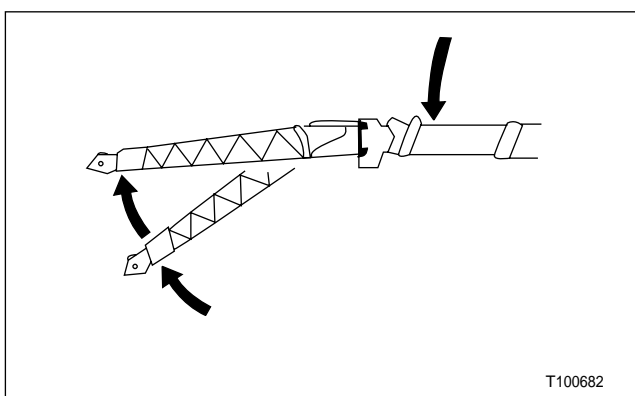
17.伸縮レバーを前方へ押し、ジブを張り出してください。

ジブ張出完了付近は微速速度で行ってください。



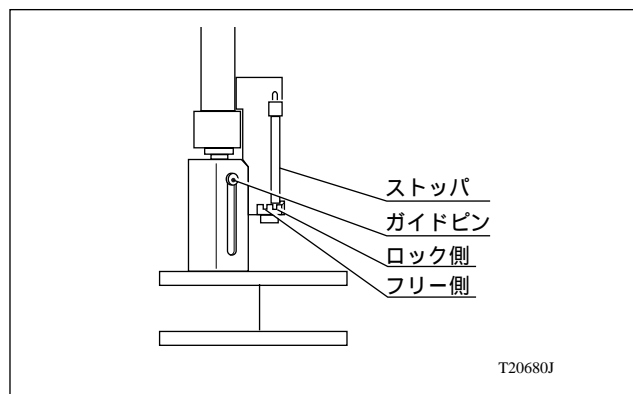
18.ジブを前方へいっぱい張り出した後、伸縮レバーを中立にしてください。

19.伸縮レバー選択スイッチを（ジブチルト）側に切り換えた後、伸縮レバーを手前に引いてジブを起こしながら、起伏レバーを前方へ押し、ブームを水平状態にしてください。



21.伸縮レバー選択スイッチを（ジブ張出）側に切り換えてください。

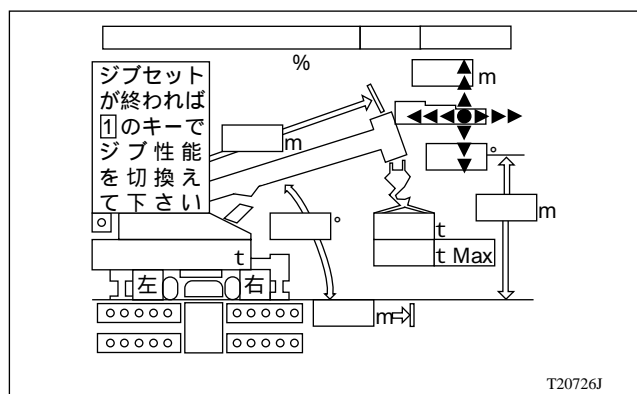
22.連結ピンとボス穴の中心が合っていることを確認した後、連結ピンのストッパーをフリーの位置にしてください。ブーム・ジブ連結ピンロック警告ランプが点灯します。



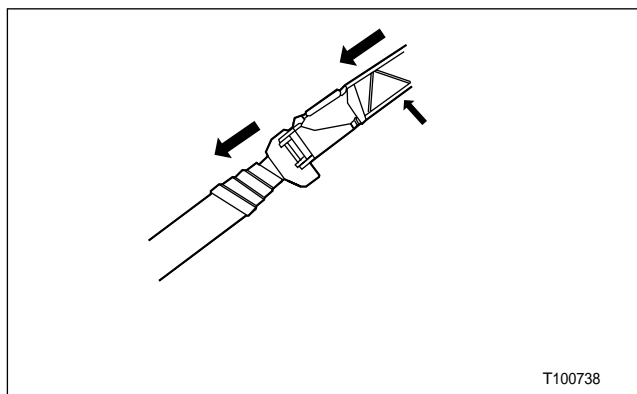
ジブの格納「その1」

(ジブをチルトした後にブーム先端に格納する)

1. マルチディスプレイにジブセット状態を登録してください。

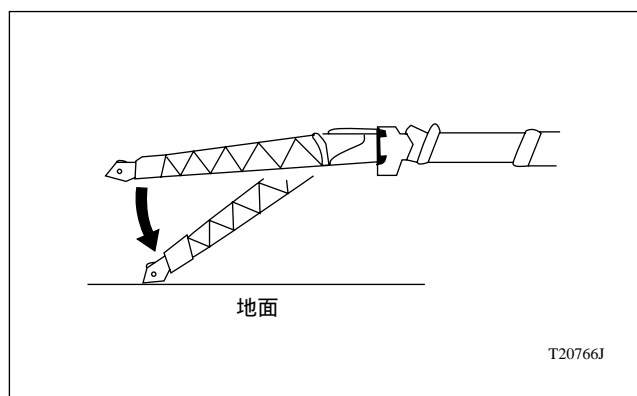


2. ジブおよびブームを全縮にした後、ジブオフセット角をいっぱいまで小さくしてください。

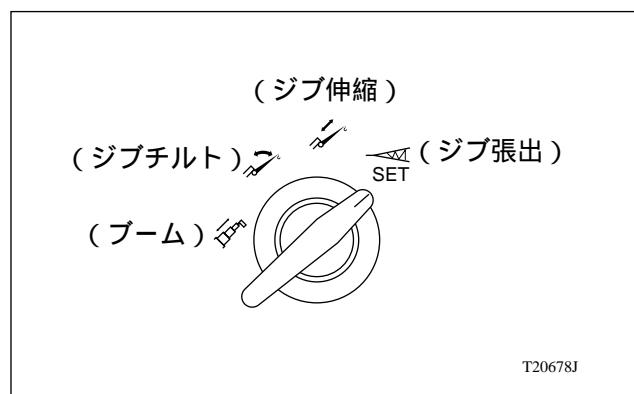


3. ブームを水平にしてください。

4. 伸縮レバー選択スイッチを(ジブチルト)側に切り換えた後、伸縮レバーを前方に押しつけてジブ先端を地面に軽く押し付けてください。



5. 伸縮レバー選択スイッチを(ジブ張出)側に切り換えてください。

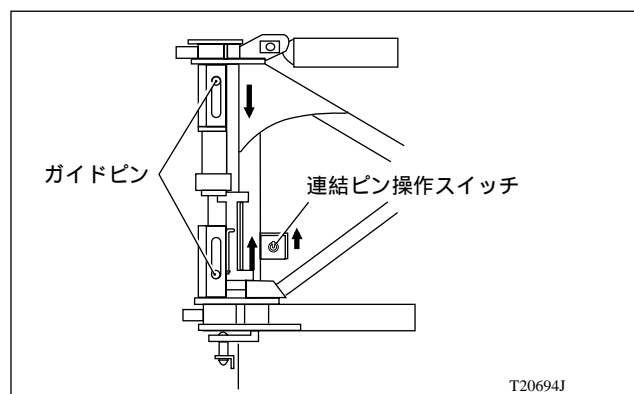


6. 連結ピンのストッパをフリーの位置にしてください。ブーム・ジブ連結ピンロック警告ランプが点灯します。

7. 連結ピンで操作スイッチを「縮」に入れ、連結ピンが完全に抜けていることを確認してください。(上下のガイドピンがガイド穴の端にあればピンは完全に抜けています。)

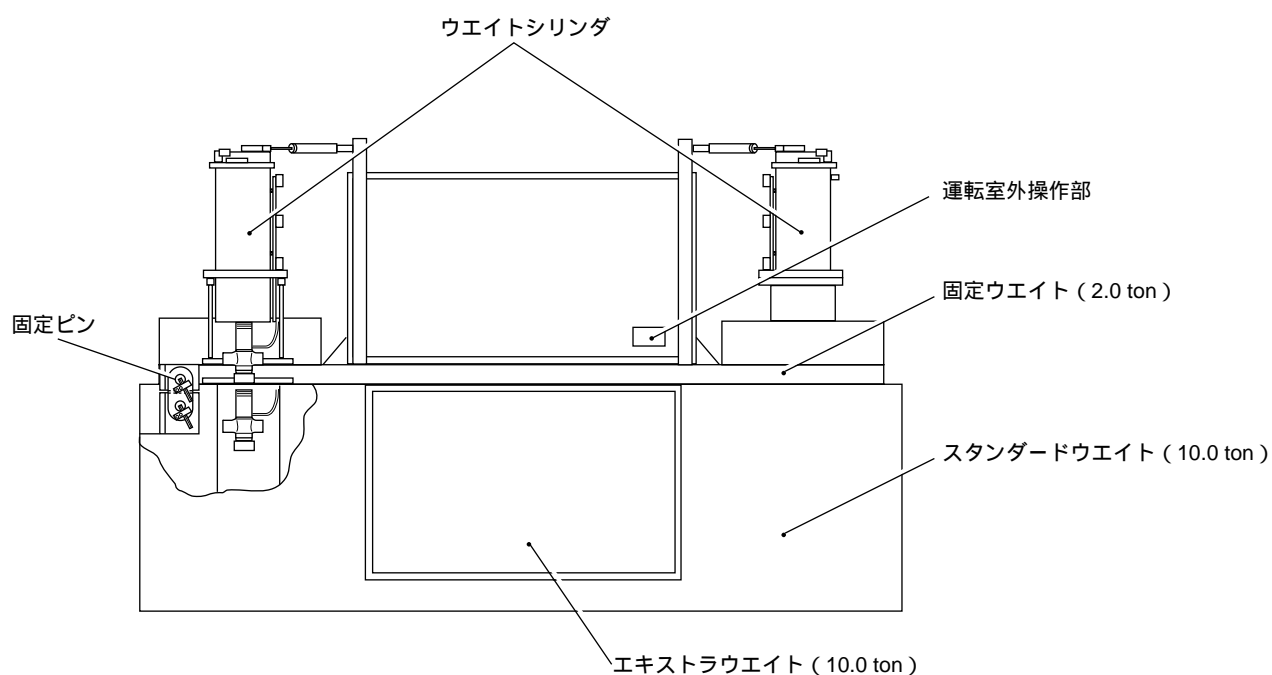
▲ 注意

▲ 連結ピン操作スイッチの操作前にストッパから手を離してください。ガイドピンが上下するため手を挟む恐れがあります。



カウンタウエイトの脱着

各部の名称



T20734J

固定ウエイトは脱着できません。

エキストラウエイトには鉛が充填されています。廃棄する場合は有価値利用として専門業者にスクラップとして販売（リサイクル）または産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物として処理してください。

カウンタウエイトの組み合わせ

カウンタウエイトの組み合わせと重量は次のようになります。

カウンタウエイトの組み合わせ	重量 (ton)
固定ウエイトのみ	2.0
固定ウエイト+スタンダードウエイト	12.0
固定ウエイト+スタンダードウエイト +エキストラウエイト	22.0

脱着時の注意事項

警告

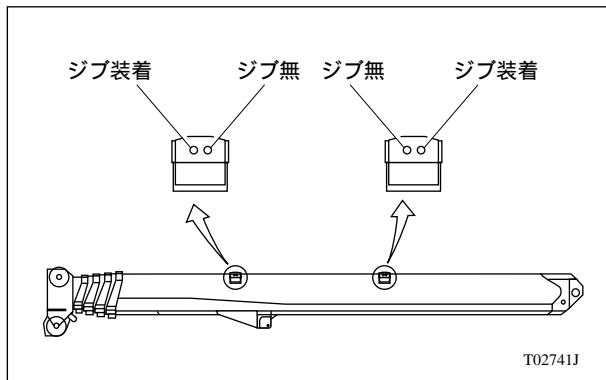
▲ 脱着作業は必ず作業指揮者を決め、その作業指揮者の指示に従ってください。

▲ クレーン部をキャリア部から分割した後、クレーン部の下には絶対に入らないようにしてください。ただし、脱着リングのカバーを取り付けるときは、安全を十分に確かめた上実施してください。

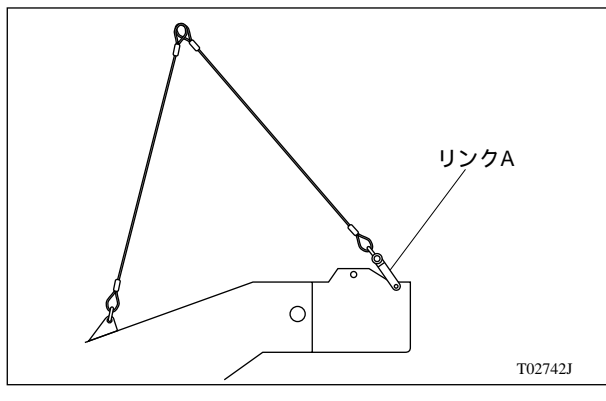
注意

▲ ブームAss'yをつり上げる際、ブームをつり上げるためのつり環の位置はブームにジブが装着されているかどうかによって異なります。

誤った位置でつり上げるとブームが傾き危険です。

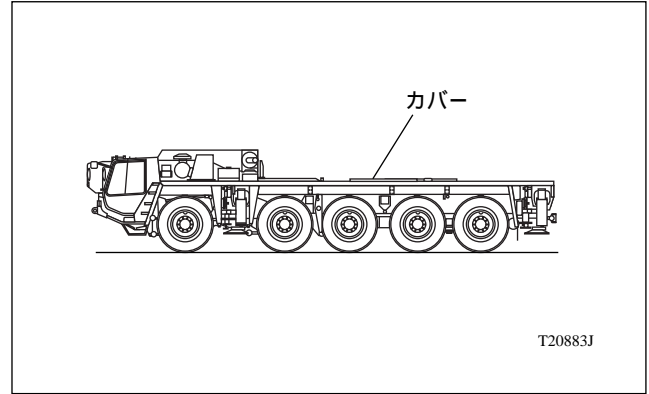


▲ クレーン1台で旋回体の脱着を行うときは、付属のリンクA (2個) を旋回体後方に取り付け、このリンクを使用してつり上げてください。旋回体のつり上げ時は旋回体の水平状態に注視してゆっくりと行ってください。傾いていると脱着時危険になるとともに、脱着リングとピニオンがひっかかりオーバーロードになったり、損傷することがあります。

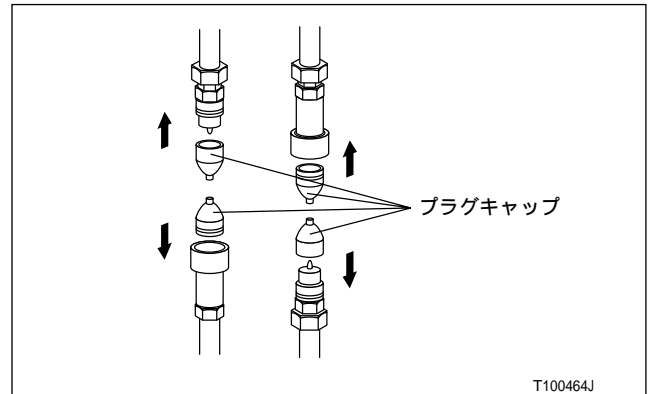


【留意事項】

◆ 旋回体をキャリア部から分割した後は、脱着リングにカバーを掛けて、ゴミや雨水等が入らないようにしてください。



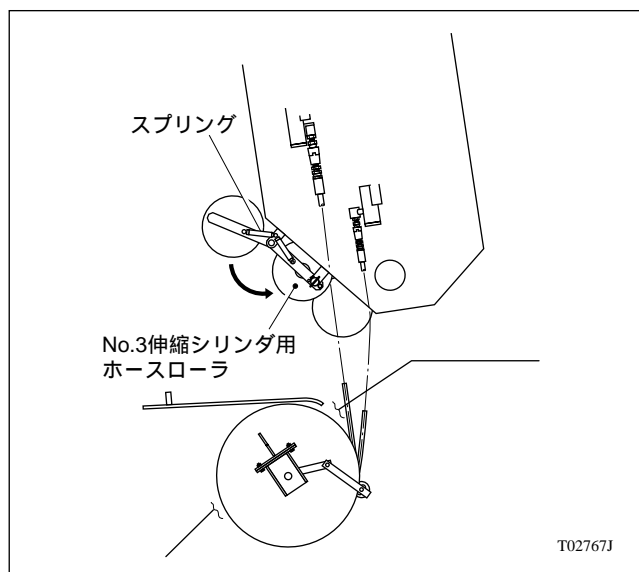
◆ ホースジョイントからホースを外した時や、配線コネクタを外した時は、ゴミ、水等の浸入を防ぐために、ホース、ホースジョイントおよび配線コネクタにはプラグまたはキャップを取り付けてください。



16. 3伸縮シリンダ用ホースローラを元の位置に格納してください。

▲ 注意

▲ ホースローラがある程度回転すると、ホースローラのスプリングによって自動的に回転します。足もとや手を挟まれないように注意してください。



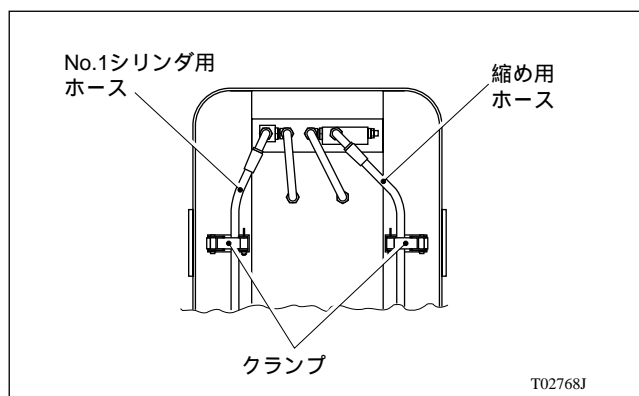
17. 旋回台右側面（内側）に格納している配線コネクタ（4本）をブーム後端部に接続してください。

◆各コネクタにしてあるキャップを外し、コネクタのピンの数を合わせて接続してください。

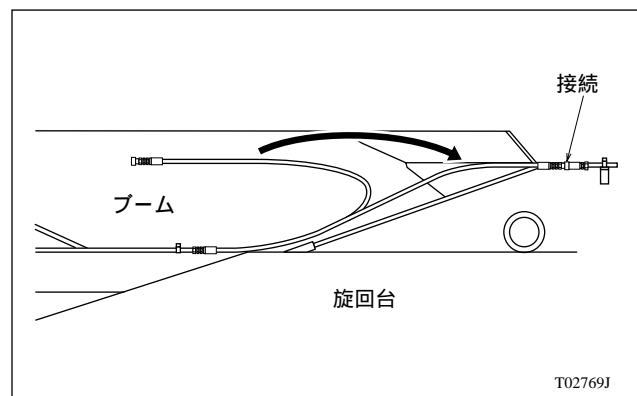
◆配線コードは付属のクランプで止めてください。

18. ブームを下げ、ブームレストに格納してください。

19. No. 1伸縮シリンダ用ホースと伸縮シリンダ縮め用ホースをシリンダ後端部に接続し、ホースをクランプで固定してください。



20. ジブ用ホース（2本）を接続してください。



以上でブーム Ass'y の取付けが完了です。

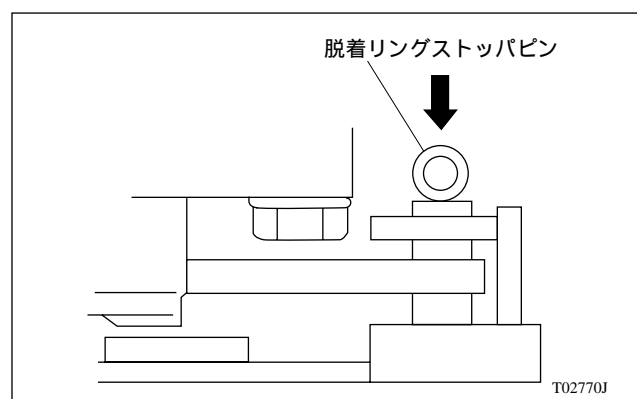
21. 現在のクレーン状態をマルチディスプレイに登録してください。

22. 脱着リング部のスペーサ位置にスペーサ（8カ所）を取り付けてください。

◆ブームを旋回するとスペーサが入りやすくなります。

◆スペーサの番号とキャリア部の取付部の番号と確認して取り付けてください。

23. キャリア側の後方の脱着リングストッパーピンを入れて、ボルトで固定してください。



24. フック（50t）を取付けてください。

25. キャリアを移動する場合は、ブームをブームレストに格納しサスペンションロックを解除して走行してください。

◆カウンタウエイト装着後は必ずサスペンションロックをしてください。

エアコン

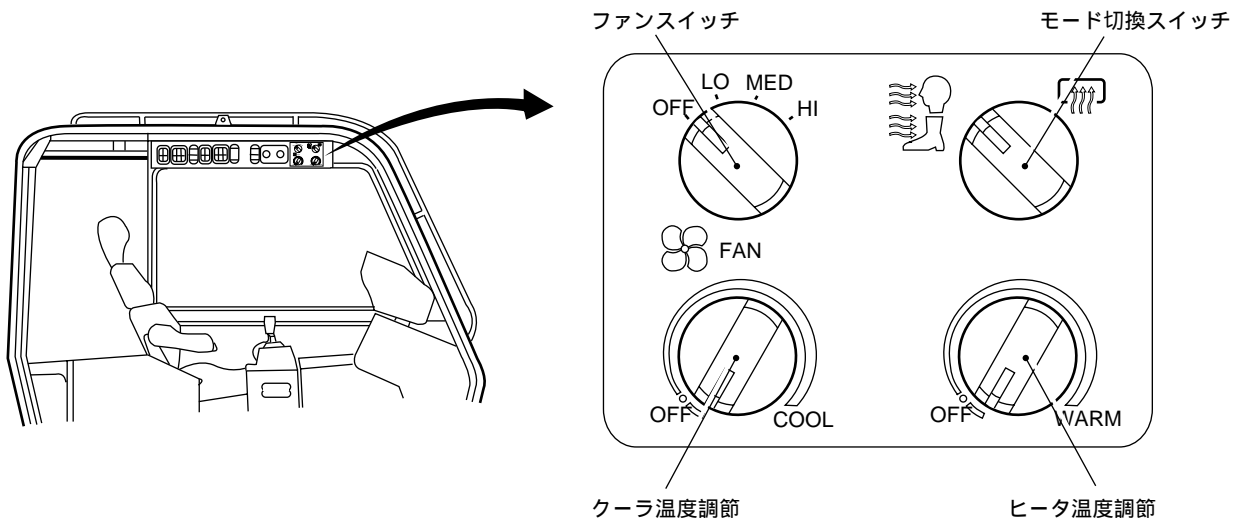
警告

- ▲ エアコンの配管接続部をむやみにはずしたり、誤った方法でガス充填をしないでください。
- ▲ エアコンの配管内には、高圧の冷媒ガスが入っているため、非常に危険です。有資格者以外は絶対に触れないでください。

【留意事項】

- ◆ エアコン運転中は、窓・ドアを閉じてください。
- ◆ 太陽の直射を受けている場所での駐車は、できるだけ避けてください。やむを得ず日射中に駐車した場合は、室内の換気を十分に行ったあとに、冷房運転を開始してください。
- ◆ エンジンおよびエアコン運転中は、回転物（ファンベルト）へは絶対に手を入れないでください。
- ◆ 吹き出し口の前には、風の妨げになるようなものを置かないでください。
- ◆ 健康冷房のために
冷房の効果は、温度と湿度を下げることにあります。健康上最適とされる温度は、外気温度との差が5～8°Cのときとされています。むやみに温度を下げたり、冷風を長時間身体にあてないよう、温度調節に注意してください。
- ◆ 換気について
エアコンの除湿作用でキャブ内が乾燥します。喫煙するときには、窓を少し開けて換気をしてください。

操作装置



T102158J

ルーフワイパスイッチ、フロントワイパスイッチ

ルーフ（天井）ワイパあるいはフロントワイパを動作させるスイッチです。雨天時またはガラスの洗浄時に使用してください。

◆ガラスが乾燥しているときは使用しないでください。

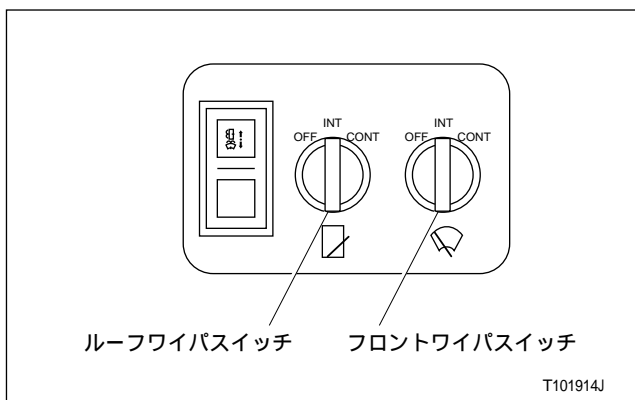
ワイパブレードの早期摩耗の原因になります。

スイッチの位置とワイパの作動は次の通りです。

OFF : 停止

INT : 間欠作動

CONT : 連続作動



ルームランプ（スイッチ付）

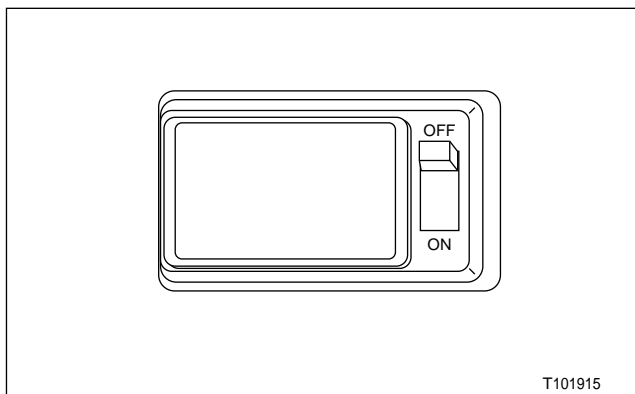
室内の照明として使用します。

ルームランプは室内の右上部部に2個取付けています。

ON : 常時点灯

中間位置 : ドアを開けると点灯し、閉めると消灯

OFF : 常時消灯



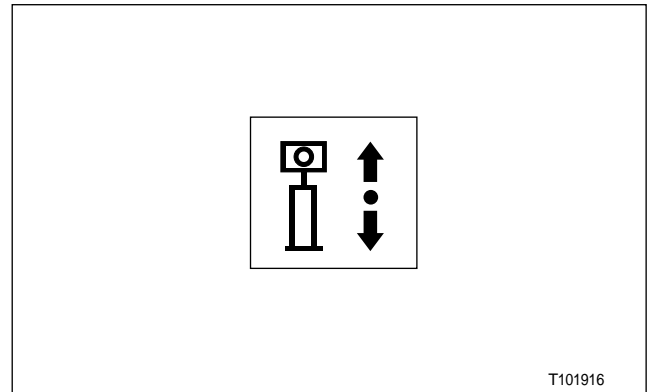
ウインチ用モニタカメラ伸長スイッチ

（オプション）

ウインチドラム周辺を撮影するカメラの伸長・格納を行うスイッチです。

カメラ画面はマルチディスプレイの画面に写し出されます。

◆マルチディスプレイ画面をカメラ画面に切換えておいてください。



エア吹出口グリル

エアコン使用時のエア吹き出方向を調節します。お好みの位置にして使用してください。

ホット&クールボックス

エアコンを使用時にその熱を利用してジュース、水等を保冷（保温）するボックスです。

◆エアコン（暖房／冷房）が作動中に利用してください。

◆夏期等にエアコンを使用していない状態で放置すると、ホット&クールボックス内温度が高温になることがあります。炭酸飲料は高温になると、栓を開けると吹き出すことがありますので注意してください。（冬期でホットボックスで利用する場合も同様です。）

ギヤーオイル

【留意事項】

◆銘柄の異なるギヤーオイルを混用すると、性状が変化して悪影響を及ぼすことがあります。ギヤーオイルを補充するときは、同一銘柄のものを使用してください。銘柄の異なるギヤーオイルを使用するときは、全量交換してください。

- ◆プラグを取り外すときは、ゴミ等が入らないようにプラグ周辺を清掃してから取り外してください。
- ◆プラグを取り付けるときは、プラグおよびプラグねじ穴を清掃し、プラグにシールテープを巻いて締め付けてください。

整備表

No	項目	数量	点 検 ・ 整 備 間 隔					
			毎日	100h	300h	600h	1200h	2400h
1	ウインチ減速機	オイル交換	15.5L × 2		◎		●	
2	旋回減速機	オイル交換	2.3L		◎		●	

◎：初回のみ

ウインチ減速機のオイル交換

・・・「1200時間または1年毎」

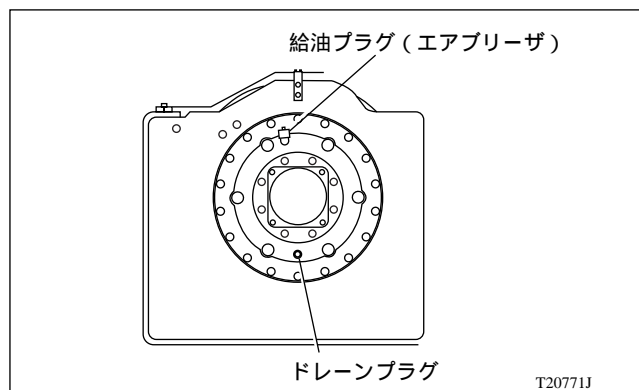
警告

▲稼働直後は減速機が高温になっています。素手でさわられる程度まで冷えてから作業を開始してください。

◆主巻きウインチ、補巻きウインチ共交換要領は同じです。

オイル交換

1. クレーンを平坦な場所に置いてください。
2. ドレンプラグの下に油受けを置いてください。
3. ドレンプラグ、給油プラグを取り外してオイルを抜いてください。



4. オイルが全量抜けた後、ドレンプラグを締め付けてください。

5. 給油ねじ穴より新しい規定量のギヤーオイルを給油してください。

6. 規定量給油した後、給油プラグを締め付けてください。

旋回減速機のオイル交換

・・・「1200時間または1年毎」

警告

▲稼働直後は減速機が高温になっています。素手で触れる程度まで冷えてから作業を開始してください。

1. クレーンを下記の状態にしてください。
 - (1) アウトリガを張り出し、クレーンを水平に設置してください。
 - (2) 作業に差し障りのない位置まで、ブームを上げてください。

電気システム

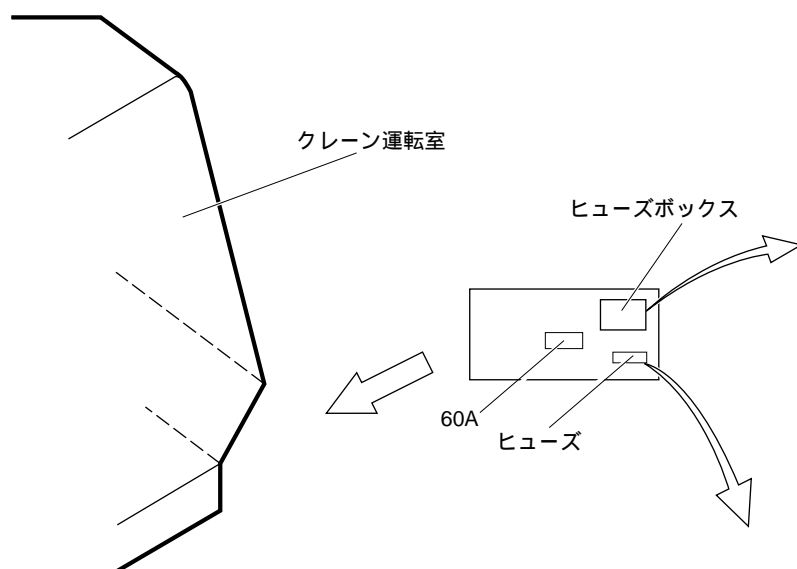
整備表

No.	項目	数量	点検間隔				
			毎週	100 h	300 h	600 h	
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月		
1	ヒューズの交換		溶断時				
2	バッテリー液の点検	2カ所			●		

ヒューズの交換・・・「溶断時」

【留意事項】

- ◆ヒューズ交換時は短絡防止のため、スタータスイッチを（OFF）にしてください。
- ◆規定容量以上のヒューズを使用すると、短絡時に配線や電装品を焼損する恐れがあります。交換時には、規定のヒューズを使用してください。



クレーン運転室フロント下部のカバーを外すとヒューズボックスが見える

15A	10A	20A	15A	15A	15A
脱着装置 ホーン	リレー出力 A M L	ワイパー ウォッシャー	シガ ライター	エア コン	作業 灯
予備	予備	20A	15A	10A	
3A	5A	10A	10A		
エア コン	ラジ オ	燃料 計	ル ーム ランプ	予 備	空

新に機器を接続する場合は、予備のヒューズを使用してください。

15A	15A	15A	15A	15A	3A		
補助 旋回 機能	補助 ウイ ンチ 機能	A M L ク レー ン 制 御	ク レー ン リ レー 制 御	ク レー ン 非 常 機 能 制 御	リ ジ ブ リ レー 出 力	空	空

T20773J

外形寸法

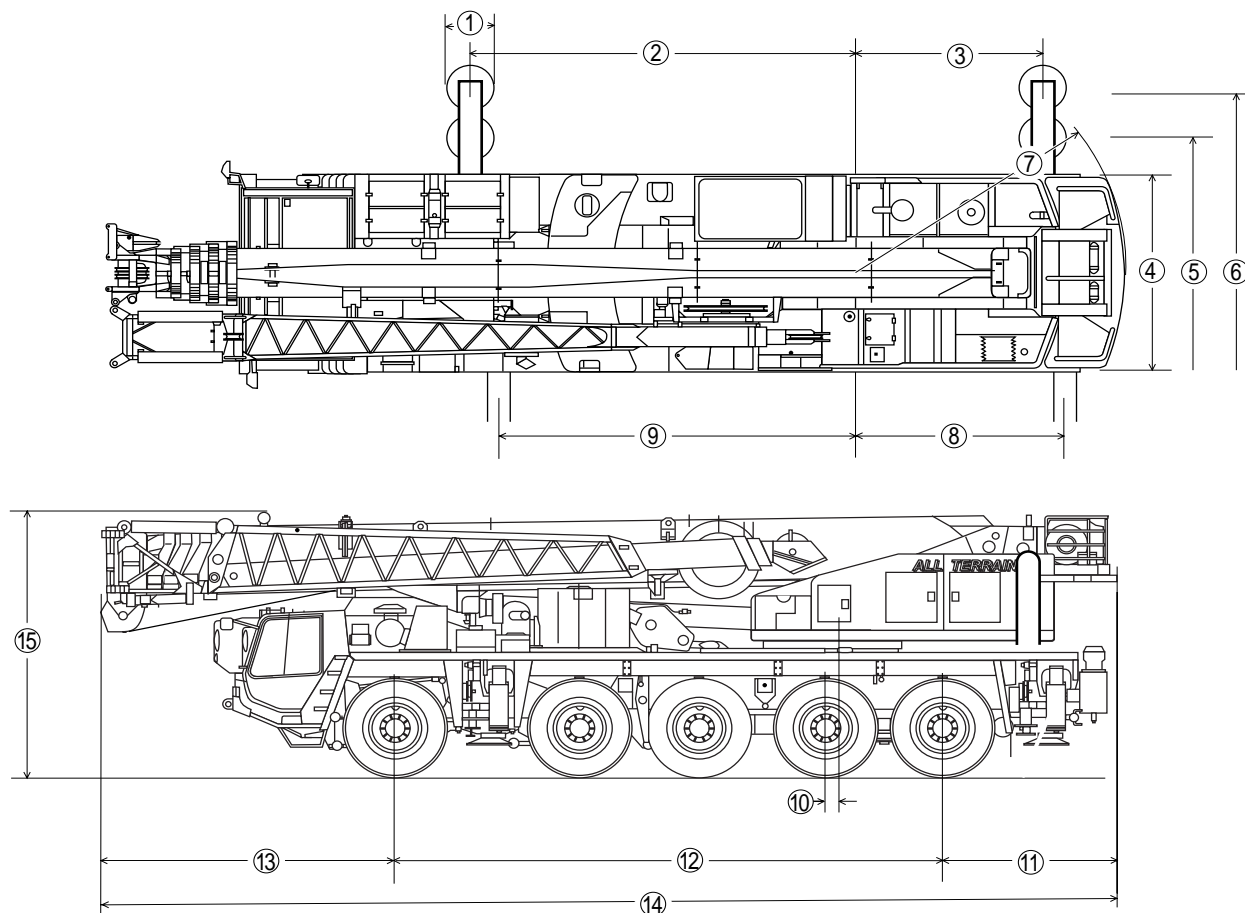
全装備状態

単位：mm

AR-1200M-1	-90101	-90102	
①	φ 570	←	
②	5,017	←	
③	2,808	←	
④全幅	3,000	←	
⑤	中間張出し幅(a) ・ 4,600	←	
	中間張出し幅(b) ・ 5,300	←	
	中間張出し幅(c) ・ 7,000	←	
⑥最大張出し幅	8,000	←	
⑦	4,130	←	
⑧	3,143	←	
⑨	4,682	←	
⑩	100	←	
⑪	2,455	←	
⑫轴距	7,700	←	
⑬	4,225	←	
⑭全長	14,380	←	
⑮全高	3,970	←	* 1
	4,000	←	* 2

* 1 : 適用号機 (～GC5027)

* 2 : 適用号機 (GC5028～)



T20774

◆本図は構内走行姿勢です。一般道路はこの姿勢では走行できません。

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL